

# 千葉県企業経営動向調査 (2011年1～3月期)

## 概 要

1. 県内企業の業況判断BSI（全産業、以下同じ）は、2期ぶりに大幅に悪化（前回〈10年10～12月期〉比 $\Delta 12.6$ の大幅悪化）した。悪化幅は統計開始（02年7～9月期）以来最大となった（従来は08年10～12月期の $\Delta 8.0$ ）。水準は17期連続で「悪化」超となった。
  - ・ 「悪化」超水準（全産業）は、リーマン・ショック直後の09年1～3月期（ $\Delta 25.9$ ）までは落ち込まなかった。製造業（ $\Delta 7.9$ ）はリーマン・ショック直後ほどの落ち込み（ $\Delta 30.9$ ）ではなかったが、非製造業（ $\Delta 21.7$ ）はリーマン・ショック直後（ $\Delta 20.3$ ）を上回り、統計開始以来最低となった。
  - ・ 業種や規模を問わず、前回比大幅に悪化した。
  - ・ 先行きBSIはさらに大幅に悪化する見込み。
2. 売上BSIは2期ぶりに大幅に悪化し、水準は18期連続で「減少」超となった。
  - ・ 非製造業の前回比悪化幅は統計開始（97年7～9月期）以来最大となった。
  - ・ 先行きBSIはさらに大幅に悪化する見込み。
3. 収益BSIは2期ぶりに大幅に悪化し、水準は21期連続で「悪化」超となった。非製造業の水準（ $\Delta 23.2$ ）は97年4～6月期の調査開始以来最低となった（従来は98年1～3月期、同年7～9月期の $\Delta 23.1$ ）。
  - ・ 先行きBSIはさらに大幅に悪化する見込み。
4. 10年度設備投資実績額（全産業）は、09年度実績額を+36.1%上回った。11年度設備投資計画額（全産業）は、震災直後の混乱から金額未決定先が多かったこと、などから10年度実績額を $\Delta 44.1\%$ 下回った。
5. 雇用BSIは、7期連続で改善したが、水準は10期連続で「過剰」超となった。
  - ・ 先行きBSIは「過剰」超幅が拡大する見込み。
6. 経営上の問題点としては、「過当競争」をあげる先が増加しているほか、今回は東日本大震災の影響をあげる先が多い。
7. 今回のBSIアンケートは、東日本大震災発生日の3月11日（金）に発送（配布先は720社）し、4月7日が締め切りであったため、全て震災後の回答となった。

千葉県経済センター

(公益財団法人ひまわりベンチャー育成基金)

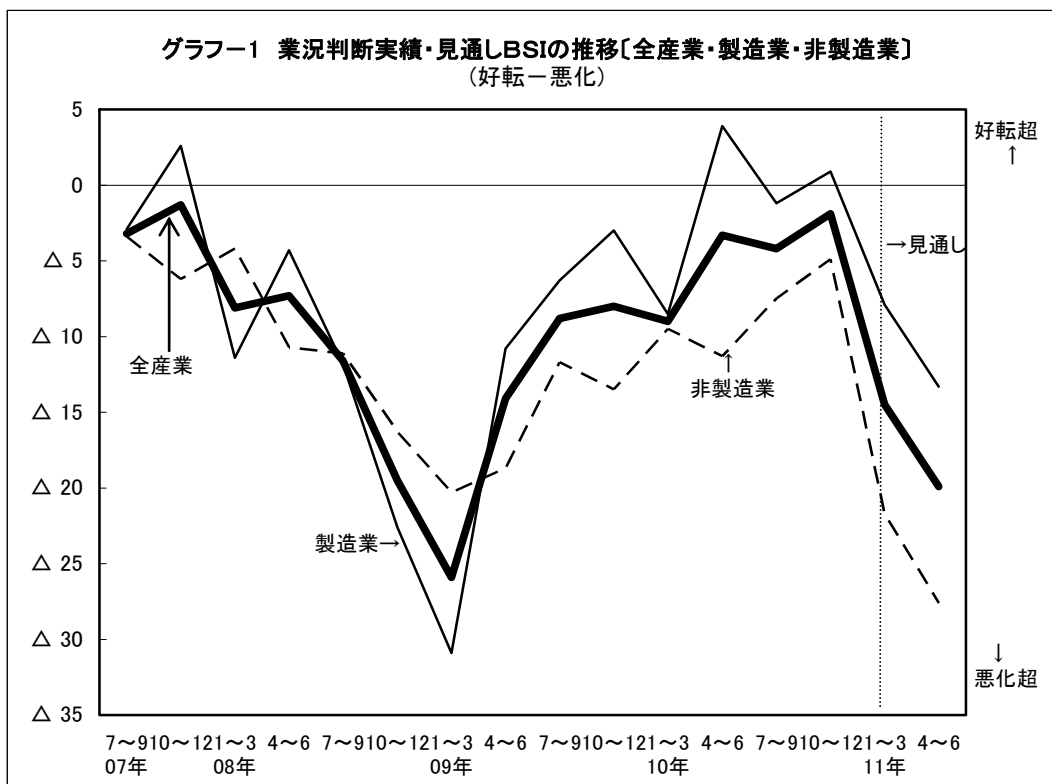
# 1. 業況判断実績・見通しBSI（グラフ1）

11年1～3月期の県内企業の業況判断BSI（全産業）は△14.5と2期ぶりに大幅に悪化（前回（10年10～12月期）比△12.6悪化）した。悪化幅は統計開始（02年7～9月期）以来最大となった（従来の最大悪化幅は08年10～12月期の△8.0）。水準は17期連続で「悪化」超となったが、リーマン・ショック直後の09年1～3月期（△25.9）までは落ち込まなかった。製造業は△7.9（同△8.8悪化）とリーマン・ショック直後（△30.9）ほど落ち込まなかったが、非製造業は△21.7（同△16.8悪化）と「減少」超値はリーマン・ショック直後を上回り、統計開始以来最低となった（従来は09年1～3月期の△20.3）。製造業では、大企業（△11.9）、中小企業（△6.3）ともに悪化した。非製造業も大企業（△19.8）、中小企業（△23.1）ともに大幅に悪化し、中小企業的水準は統計開始以来最低となった（従来は09年4～6月期の△18.9）。業種別には、製造業では、一般・精密機械、輸送用機械、鉄鋼・非鉄金属などは改善したが、窯業・土石、食料品、電気機械などは大幅に悪化した。非製造業では全ての業種で悪化したが、特にホテル・旅館は前回比△58.3の大幅悪化となった。

先行き（11年4～6月期）の業況判断BSI（全産業）はさらに大幅に悪化する見込み。

	実績					見通し	
	10年			11年		4～6月	実績比
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回比		
全産業	△ 3.3	△ 4.2	△ 1.9	△ 14.5	△ 12.6	△ 19.9	△ 5.4
製造業	3.9	△ 1.2	0.9	△ 7.9	△ 8.8	△ 13.3	△ 5.4
大企業	10.6	0.0	6.7	△ 11.9	△ 18.6	△ 7.9	4.0
中小企業	0.9	△ 1.7	△ 4.9	△ 6.3	△ 4.5	△ 15.4	△ 9.1
非製造業	△ 11.3	△ 7.5	△ 4.8	△ 21.7	△ 16.8	△ 27.6	△ 5.9
大企業	△ 14.3	△ 8.1	△ 4.8	△ 19.8	△ 15.0	△ 27.0	△ 7.2
中小企業	△ 8.1	△ 6.9	△ 5.0	△ 23.1	△ 18.1	△ 28.1	△ 5.0

	実績					見通し	
	10年			11年		4～6月	実績比
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回比		
食料品	1.6	△ 6.5	6.1	△ 18.2	△ 24.3	△ 11.9	6.3
石油・化学	5.0	0.0	2.7	△ 13.9	△ 16.6	△ 19.5	△ 5.6
プラスチック	△ 4.6	0.0	0.0	△ 14.3	△ 14.3	△ 14.3	0.0
窯業・土石	△ 3.9	4.2	11.6	△ 23.1	△ 34.7	△ 30.8	△ 7.7
鉄鋼・非鉄金属	△ 12.5	△ 22.8	△ 9.1	0.0	9.1	△ 30.0	△ 30.0
金属製品	△ 4.0	0.0	0.0	△ 9.5	△ 9.5	△ 4.8	4.7
一般・精密機械	26.7	20.0	3.4	20.0	16.6	△ 15.0	△ 35.0
電気機械	31.3	18.8	7.2	△ 16.7	△ 23.9	16.7	33.4
輸送用機械	0.0	△ 12.5	△ 13.3	0.0	13.3	△ 25.0	△ 25.0
その他製造	10.6	△ 2.8	△ 3.0	5.9	8.9	0.0	△ 5.9
建設	△ 20.5	△ 11.6	11.4	△ 7.5	△ 18.9	△ 22.5	△ 15.0
運輸・倉庫	7.2	9.1	△ 8.4	△ 16.7	△ 8.3	△ 27.8	△ 11.1
卸売	△ 10.7	△ 7.2	3.7	△ 22.7	△ 26.4	△ 19.5	3.2
小売	△ 15.0	△ 4.6	△ 12.9	△ 28.0	△ 15.1	△ 29.2	△ 1.2
ホテル・旅館	△ 8.4	△ 5.0	8.3	△ 50.0	△ 58.3	△ 33.4	16.6
サービス	△ 11.1	△ 12.2	△ 13.7	△ 18.6	△ 4.9	△ 32.4	△ 13.8



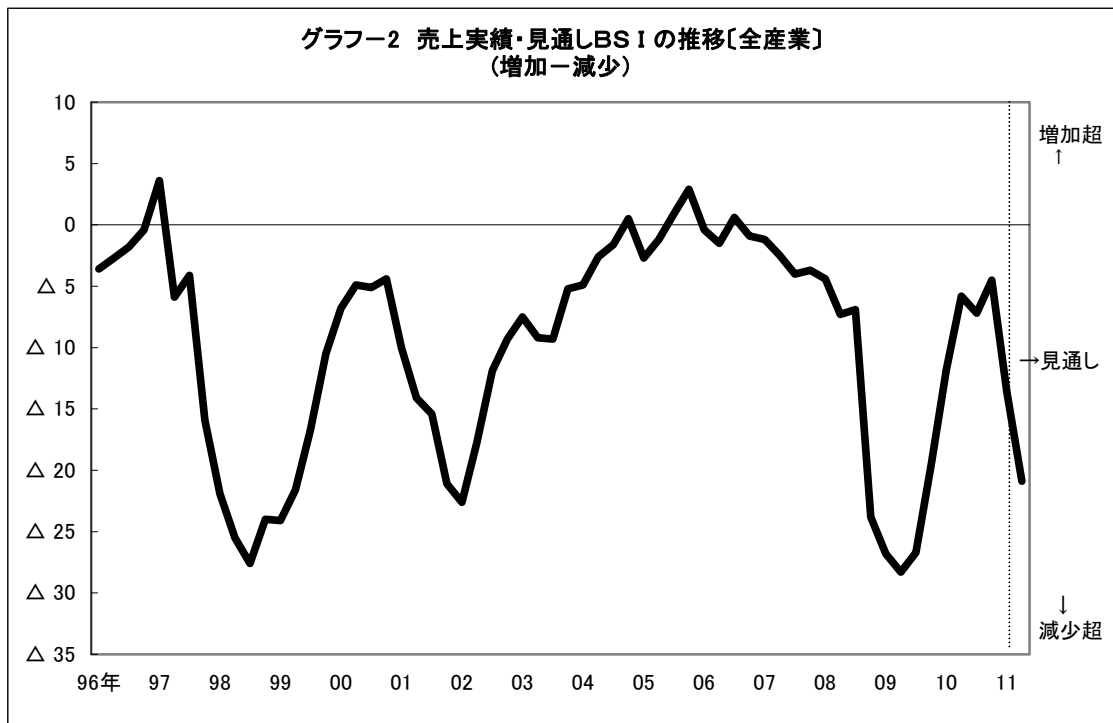
## 2. 売上実績・見通しBSI（グラフ2）

売上BSI（全産業）は△13.6（前回比△9.1）と2期ぶりに悪化し、水準は18期連続で「減少」超となった。製造業は△3.0（同△2.7）、非製造業も△25.2（同△16.2）とともに前回比悪化したが、非製造業の悪化幅は統計開始（97年7～9月）以来最大となった（従来は08年10～12月期の△14.1）。非製造業の中小企業（△27.6）の「悪化」超水準は、リーマン・ショック後（09年7～9月期）の最低値（△26.8）を更新した。業種別には、プラスチック、食料品、一般・精密機械などは改善したが、非製造業はすべての業種で悪化した。特に、ホテル・旅館の悪化幅（△70.9）は02年7～9月期の統計開始以来最大となった（従来は08年10～12月期の△28.9）。

先行きの売上BSI（全産業）はさらに悪化する見込み。

	実績						見通し	
	10年			11年			4～6月	実績比
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回比	4～6月		
全産業	△ 5.8	△ 7.2	△ 4.5	△ 13.6	△ 9.1	△ 20.9	△ 7.3	
製造業	△ 0.3	△ 3.2	△ 0.3	△ 3.0	△ 2.7	△ 15.6	△ 12.6	
大企業	6.3	0.0	2.9	△ 1.3	△ 4.2	△ 11.9	△ 10.6	
中小企業	△ 3.4	△ 4.5	△ 1.8	△ 3.7	△ 1.9	△ 17.0	△ 13.3	
非製造業	△ 12.3	△ 11.6	△ 9.0	△ 25.2	△ 16.2	△ 26.9	△ 1.7	
大企業	△ 13.0	△ 11.3	△ 7.0	△ 22.3	△ 15.3	△ 23.6	△ 1.3	
中小企業	△ 11.5	△ 12.0	△ 11.5	△ 27.6	△ 16.1	△ 29.7	△ 2.1	

	実績						見通し	
	10年			11年			4～6月	実績比
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回比	4～6月		
食料品	△ 16.7	△ 21.0	△ 18.2	△ 9.1	9.1	△ 20.5	△ 11.4	
石油・化学	9.1	4.8	△ 2.8	△ 8.3	△ 5.5	△ 22.3	△ 14.0	
プラスチック	4.6	△ 5.0	△ 18.8	△ 7.2	11.6	△ 21.5	△ 14.3	
窯業・土石	△ 19.2	△ 8.4	3.9	△ 23.1	△ 27.0	△ 26.9	△ 3.8	
鉄鋼・非鉄金属	△ 3.9	△ 12.5	△ 4.6	0.0	4.6	△ 40.0	△ 40.0	
金属製品	2.0	△ 3.6	10.7	△ 4.8	△ 15.5	△ 4.8	0.0	
一般・精密機械	21.9	0.0	7.2	15.0	7.8	△ 5.0	△ 20.0	
電気機械	31.3	12.5	14.3	8.4	△ 5.9	0.0	△ 8.4	
輸送用機械	3.6	5.9	0.0	0.0	0.0	△ 21.4	△ 21.4	
その他製造	△ 7.9	11.1	14.7	11.8	△ 2.9	△ 3.2	△ 15.0	
建設	△ 15.9	△ 19.3	△ 6.9	△ 20.0	△ 13.1	△ 23.7	△ 3.7	
運輸・倉庫	7.2	9.1	△ 4.6	△ 10.0	△ 5.4	△ 25.0	△ 15.0	
卸売	△ 16.1	△ 8.6	△ 7.2	△ 22.7	△ 15.5	△ 18.4	4.3	
小売	△ 19.4	△ 16.7	△ 14.1	△ 26.0	△ 11.9	△ 26.0	0.0	
ホテル・旅館	0.0	△ 5.0	20.9	△ 50.0	△ 70.9	△ 50.0	0.0	
サービス	△ 12.2	△ 12.0	△ 15.7	△ 27.8	△ 12.1	△ 29.2	△ 1.4	



### 3. 生産・操業度・受注・在庫BSI

#### (1) 生産実績・見通しBSI (グラフー3・4)

生産BSI (製造業) は0.0 (前回比+0.9) と2期連続で小幅改善し、水準は3期ぶりに「悪化」超から改善した。規模別には、大企業は△2.7 (同△5.6) と悪化した、中小企業は1.2 (同+4.0) と改善し、水準も17期ぶりに「増加」超となった。

業種別には、窯業・土石、金属製品、電気機械は悪化した、鉄鋼・非鉄金属、食料品、プラスチックなどが改善した。

先行きの生産BSI (製造業) は大幅に悪化する見込み。

	実績					見通し	
	10年			11年		4~6月	実績比
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	前回比		
製造業	1.5	△ 1.3	△ 0.9	0.0	0.9	△ 13.1	△ 13.1
大企業	8.2	4.3	2.9	△ 2.7	△ 5.6	△ 9.5	△ 6.8
中小企業	△ 1.8	△ 3.6	△ 2.8	1.2	4.0	△ 14.6	△ 15.8

	実績					見通し	
	10年			11年		4~6月	実績比
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	前回比		
食料品	△ 15.7	△ 19.0	△ 17.8	△ 10.0	7.8	△ 16.7	△ 6.7
石油・化学	6.8	7.2	0.0	2.8	2.8	△ 11.1	△ 13.9
プラスチック	10.0	△ 5.6	△ 12.5	△ 8.3	4.2	△ 25.0	△ 16.7
窯業・土石	△ 19.2	△ 4.2	3.9	△ 15.4	△ 19.3	△ 23.0	△ 7.7
鉄鋼・非鉄金属	△ 12.5	△ 9.1	△ 20.0	△ 10.0	10.0	△ 40.0	△ 30.0
金属製品	2.0	△ 2.0	7.2	2.4	△ 4.8	△ 7.5	△ 9.9
一般・精密機械	28.6	10.0	14.3	15.0	0.7	△ 5.0	△ 20.0
電気機械	31.3	6.3	△ 7.2	△ 8.4	△ 1.2	0.0	8.4
輸送用機械	12.5	7.7	3.9	4.2	0.3	△ 20.8	△ 25.0
その他製造	2.9	9.4	16.7	15.7	△ 1.0	0.0	△ 15.7

#### (2) 操業度実績・見通しBSI (グラフー3)

操業度BSI (製造業) は0.0 (前回比△0.4) と2期ぶりに小幅悪化した。規模別には、大企業は0.0 (同△4.9) と4期連続で悪化した、中小企業は0.0 (同+1.9) と2期連続で改善し、水準も17期ぶりに「低下」超から改善した。業種別には、電気機械、食料品、プラスチック、一般・精密機械は改善したが、窯業・土石、輸送用機械、石油・化学、金属製品が悪化した。

先行きの操業度BSI (製造業) は大幅に悪化する見込み。

	実績					見通し	
	10年			11年		4~6月	実績比
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	前回比		
製造業	0.9	△ 0.7	0.4	0.0	△ 0.4	△ 13.6	△ 13.6
大企業	6.4	5.3	4.9	0.0	△ 4.9	△ 15.3	△ 15.3
中小企業	△ 1.8	△ 3.1	△ 1.9	0.0	1.9	△ 12.9	△ 12.9

	実績					見通し	
	10年			11年		4~6月	実績比
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	前回比		
食料品	△ 16.1	△ 15.0	△ 12.9	△ 7.2	5.7	△ 16.7	△ 9.5
石油・化学	4.6	11.9	2.7	0.0	△ 2.7	△ 13.9	△ 13.9
プラスチック	10.0	5.6	△ 12.5	△ 8.3	4.2	△ 25.0	△ 16.7
窯業・土石	△ 19.2	△ 8.3	3.9	△ 15.4	△ 19.3	△ 19.3	△ 3.9
鉄鋼・非鉄金属	△ 8.4	△ 22.7	△ 20.0	△ 20.0	0.0	△ 30.0	△ 10.0
金属製品	3.9	△ 3.9	7.2	4.8	△ 2.4	△ 10.0	△ 14.8
一般・精密機械	32.2	13.4	17.9	20.0	2.1	△ 10.0	△ 30.0
電気機械	25.0	6.3	△ 7.2	0.0	7.2	0.0	0.0
輸送用機械	16.7	10.7	3.6	0.0	△ 3.6	△ 22.7	△ 22.7
その他製造	△ 9.4	6.3	14.3	13.4	△ 0.9	0.0	△ 13.4

### (3) 受注実績・見通しBSI (グラフ—3・4)

受注BSI (製造業、建設業) は $\Delta 2.2$  (前回比 $+0.2$ ) と僅かながら2期連続で改善したが、水準は3期連続で「減少」超となった。業種別には、建設、電気機械、窯業・土石などは悪化したが、プラスチック、食料品、鉄鋼・非鉄金属、一般・精密機械などが改善した。

先行きの受注BSI (製造業、建設業) は大幅に悪化し、「減少」超幅が拡大する見込み。

	実績					見通し	
	10年			11年		4~6月	実績比
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	前回比		
製造業+建設業	1.1	$\Delta 2.8$	$\Delta 2.4$	$\Delta 2.2$	0.2	$\Delta 15.6$	$\Delta 13.4$
製造業	2.4	$\Delta 1.0$	$\Delta 2.0$	$\Delta 0.4$	1.6	$\Delta 14.5$	$\Delta 14.1$
大企業	10.4	4.6	1.1	$\Delta 5.6$	$\Delta 6.7$	$\Delta 12.5$	$\Delta 6.9$
中小企業	$\Delta 1.4$	$\Delta 3.1$	$\Delta 3.3$	1.7	5.0	$\Delta 15.3$	$\Delta 17.0$

(注) 非製造業は建設のみのため、特に記載せず

	実績					見通し	
	10年			11年		4~6月	実績比
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	前回比		
食料品	$\Delta 21.0$	$\Delta 20.7$	$\Delta 15.5$	$\Delta 7.9$	7.6	$\Delta 15.8$	$\Delta 7.9$
石油・化学	6.8	7.2	$\Delta 2.8$	$\Delta 8.9$	$\Delta 5.5$	$\Delta 14.7$	$\Delta 6.4$
プラスチック	10.0	0.0	$\Delta 12.5$	0.0	12.5	$\Delta 30.0$	$\Delta 30.0$
窯業・土石	$\Delta 12.5$	$\Delta 9.1$	$\Delta 7.7$	$\Delta 15.4$	$\Delta 7.7$	$\Delta 23.1$	$\Delta 7.7$
鉄鋼・非鉄金属	$\Delta 4.2$	$\Delta 9.1$	$\Delta 15.0$	$\Delta 10.0$	5.0	$\Delta 40.0$	$\Delta 30.0$
金属製品	2.0	2.0	9.3	4.8	$\Delta 4.5$	$\Delta 10.0$	$\Delta 14.8$
一般・精密機械	28.1	3.3	10.0	15.0	5.0	$\Delta 10.0$	$\Delta 25.0$
電気機械	31.3	12.5	0.0	$\Delta 8.4$	$\Delta 8.4$	0.0	8.4
輸送用機械	7.7	10.0	0.0	3.9	3.9	$\Delta 20.8$	$\Delta 24.7$
その他製造	10.0	10.0	10.7	17.9	7.2	0.0	$\Delta 17.9$
建設	$\Delta 9.5$	$\Delta 16.7$	$\Delta 5.6$	$\Delta 14.8$	$\Delta 9.2$	$\Delta 23.5$	$\Delta 8.7$

### (4) 在庫実績・見通しBSI (グラフ—3)

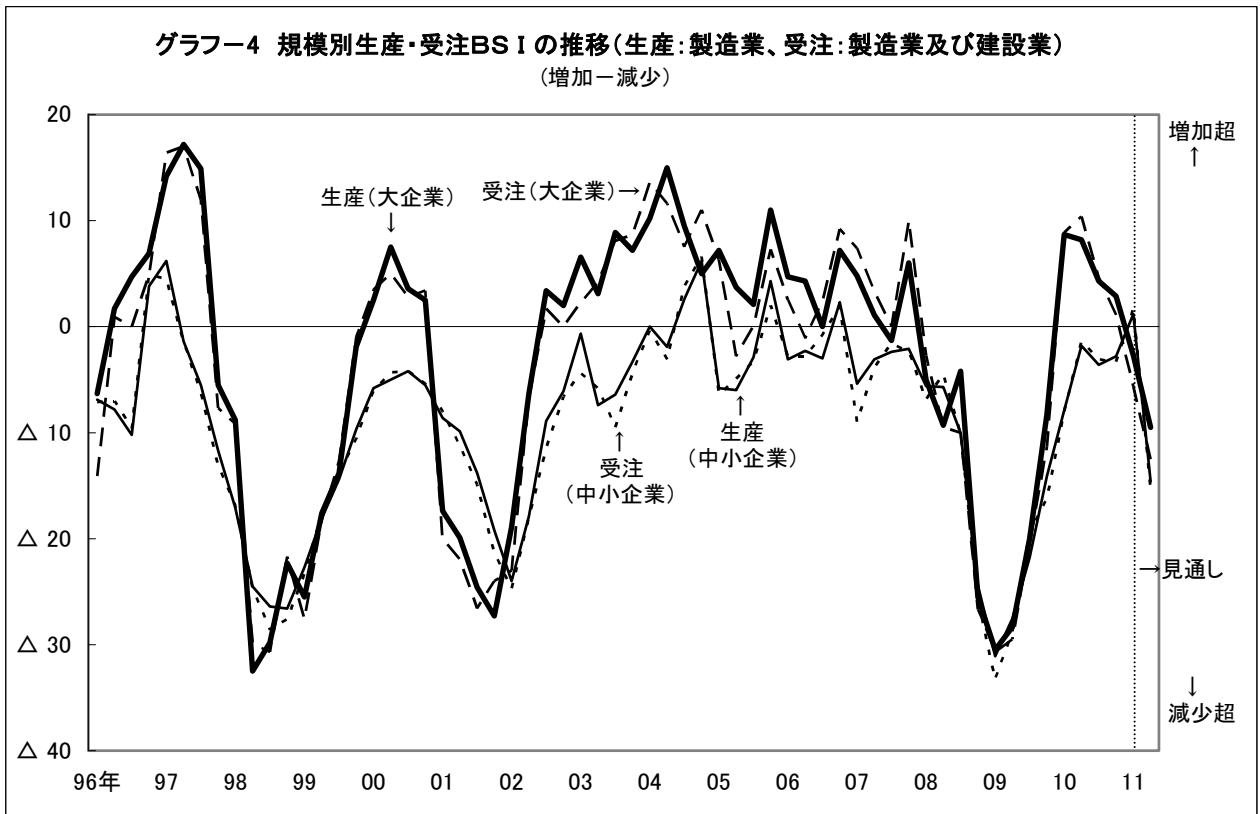
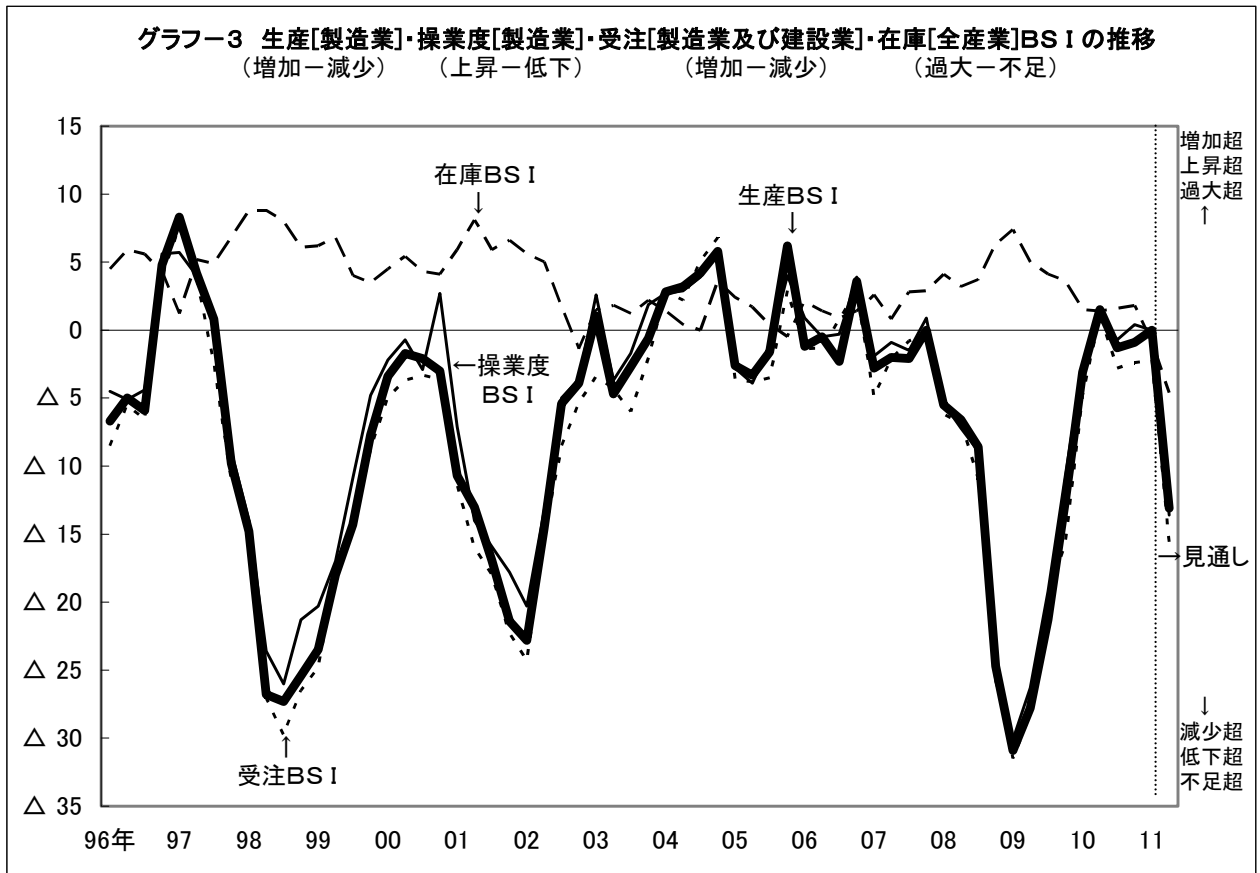
在庫BSI (全産業) は $\Delta 0.9$  (前回比 $\Delta 2.7$ ) となり、水準は05年10~12月期以来21期ぶりに「不足」超となった。製造業は $\Delta 4.0$  (同 $\Delta 6.6$ ) と17期ぶりに「不足」超となったが、非製造業は3.7 (同 $+2.8$ ) と20期連続で「過大」超となった。業種別には、ホテル・旅館、食料品、一般・精密機械、卸売は「過大」超、電気機械、運輸・倉庫、小売、サービスは「適正」、鉄鋼・非鉄金属、窯業・土石、石油・化学、プラスチックなどは「不足」超となった。

先行きの在庫BSI (全産業) はさらに「不足」幅が拡大する見込み。

	実績					見通し	
	10年			11年		4~6月	実績比
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	前回比		
全産業	1.4	1.6	1.8	$\Delta 0.9$	$\Delta 2.7$	$\Delta 4.6$	$\Delta 3.7$
製造業	0.6	2.7	2.6	$\Delta 4.0$	$\Delta 6.6$	$\Delta 5.2$	$\Delta 1.2$
大企業	0.0	2.1	2.0	$\Delta 10.6$	$\Delta 12.6$	$\Delta 13.2$	$\Delta 2.6$
中小企業	0.9	3.0	2.8	$\Delta 1.2$	$\Delta 4.0$	$\Delta 1.8$	$\Delta 0.6$
非製造業	2.8	0.0	0.9	3.7	2.8	$\Delta 3.7$	$\Delta 7.4$
大企業	3.4	0.0	1.4	4.1	2.7	$\Delta 5.4$	$\Delta 9.5$
中小企業	2.0	0.0	0.0	3.4	3.4	$\Delta 2.3$	$\Delta 5.7$

(注) BSI が大きいと在庫過大であることを表す

	実績					見通し	
	10年			11年		4~6月	実績比
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	前回比		
食料品	0.0	6.5	4.7	7.2	2.5	$\Delta 2.4$	$\Delta 9.6$
石油・化学	$\Delta 4.8$	2.5	$\Delta 8.4$	$\Delta 8.8$	$\Delta 0.4$	$\Delta 11.8$	$\Delta 3.0$
プラスチック	$\Delta 4.6$	0.0	6.3	$\Delta 7.2$	$\Delta 13.5$	$\Delta 8.4$	$\Delta 1.2$
窯業・土石	4.2	0.0	0.0	$\Delta 15.4$	$\Delta 15.4$	$\Delta 11.6$	3.8
鉄鋼・非鉄金属	$\Delta 3.9$	0.0	0.0	$\Delta 20.0$	$\Delta 20.0$	$\Delta 10.0$	10.0
金属製品	8.0	2.0	5.8	$\Delta 2.9$	$\Delta 8.3$	$\Delta 5.0$	$\Delta 2.5$
一般・精密機械	$\Delta 3.1$	3.4	7.2	5.0	$\Delta 2.2$	5.0	0.0
電気機械	0.0	0.0	7.2	0.0	$\Delta 7.2$	0.0	0.0
輸送用機械	$\Delta 3.9$	0.0	$\Delta 3.6$	$\Delta 4.6$	$\Delta 1.0$	$\Delta 4.6$	0.0
その他製造	8.4	5.6	6.7	$\Delta 6.7$	$\Delta 13.4$	$\Delta 3.4$	3.3
建設	$\Delta 3.3$	$\Delta 10.0$	3.6	$\Delta 5.0$	$\Delta 8.6$	$\Delta 15.0$	$\Delta 10.0$
運輸・倉庫	0.0	$\Delta 8.4$	0.0	0.0	0.0	$\Delta 12.5$	$\Delta 12.5$
卸売	5.4	3.7	3.9	4.8	0.9	$\Delta 4.8$	$\Delta 9.6$
小売	3.7	1.6	$\Delta 1.7$	0.0	1.7	$\Delta 7.5$	$\Delta 7.5$
ホテル・旅館	0.0	0.0	0.0	35.7	35.7	21.5	$\Delta 14.2$
サービス	4.2	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

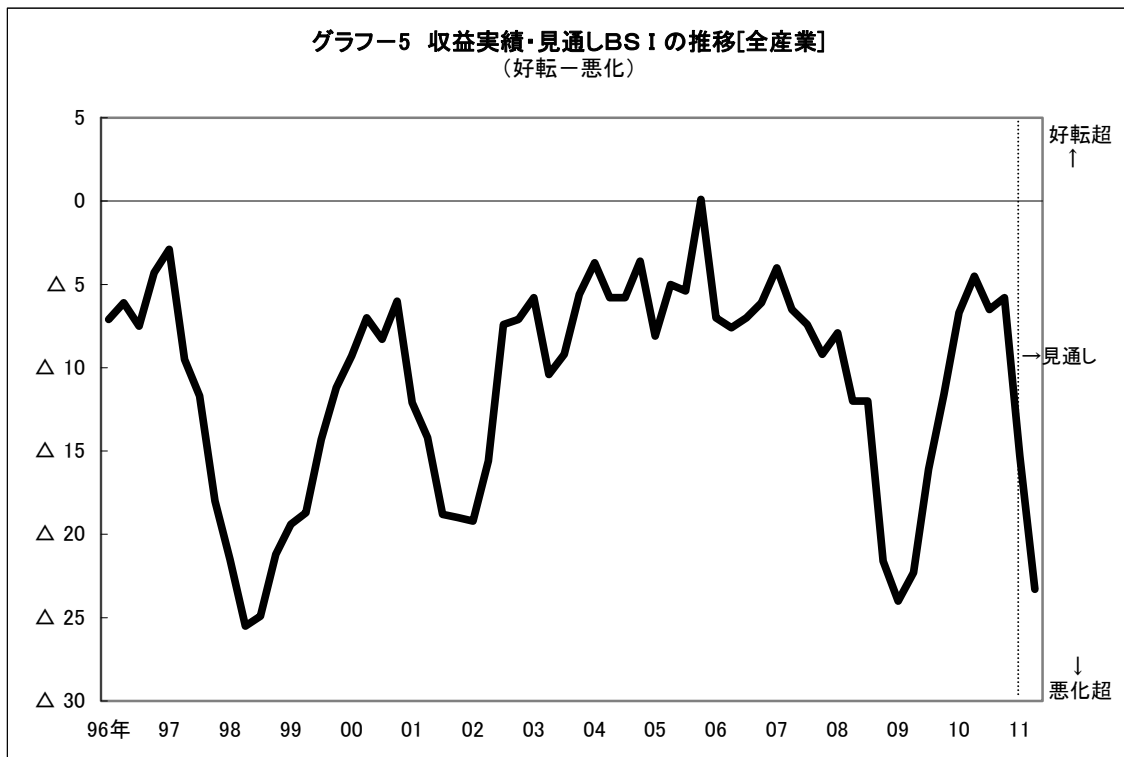


#### 4. 収益実績・見通しBSI（グラフー5）

収益BSI（全産業）は△15.3（前回比△9.5）と2期ぶりに大幅に悪化した。水準は21期連続で「悪化」超となった。製造業は△8.0（同△5.8）、非製造業も△23.2（同△13.4）とともに悪化し、非製造業の水準は統計開始（97年4～6月期）以来最低となった（従来は98年1～3月期、同年7～9月期の△23.1）。業種別には、食料品、その他製造を除く全16業種中14業種が悪化した。

先行きの収益BSIは、さらに大幅に悪化する見込み。

	実績						見通し	
	10年			11年			4～6月	実績比
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回比	4～6月		
全産業	△ 4.5	△ 6.5	△ 5.8	△ 15.3	△ 9.5	△ 23.3	△ 8.0	
製造業	0.6	△ 2.9	△ 2.2	△ 8.0	△ 5.8	△ 18.0	△ 10.0	
大企業	9.8	4.1	0.9	△ 9.2	△ 10.1	△ 15.8	△ 6.6	
中小企業	△ 3.9	△ 5.7	△ 3.6	△ 7.5	△ 3.9	△ 18.9	△ 11.4	
非製造業	△ 10.4	△ 10.5	△ 9.8	△ 23.2	△ 13.4	△ 29.1	△ 5.9	
大企業	△ 12.4	△ 10.0	△ 8.6	△ 22.3	△ 13.7	△ 27.9	△ 5.6	
中小企業	△ 8.2	△ 11.0	△ 11.2	△ 23.9	△ 12.7	△ 30.0	△ 6.1	
食料品	△ 12.5	△ 16.1	△ 15.2	△ 13.7	1.5	△ 16.7	△ 3.0	
石油・化学	6.9	11.9	△ 5.6	△ 13.9	△ 8.3	△ 25.0	△ 11.1	
プラスチック	4.6	△ 15.0	△ 12.5	△ 21.5	△ 9.0	△ 30.0	△ 8.5	
窯業・土石	△ 11.6	0.0	15.4	△ 26.9	△ 42.3	△ 26.9	0.0	
鉄鋼・非鉄金属	△ 3.9	△ 12.5	△ 10.0	△ 20.0	△ 10.0	△ 40.0	△ 20.0	
金属製品	2.0	△ 1.9	1.9	△ 7.5	△ 9.4	△ 15.0	△ 7.5	
一般・精密機械	12.5	0.0	6.7	5.0	△ 1.7	△ 10.0	△ 15.0	
電気機械	25.0	18.8	7.2	0.0	△ 7.2	0.0	0.0	
輸送用機械	10.7	△ 3.0	△ 3.3	△ 3.6	△ 0.3	△ 21.4	△ 17.8	
その他製造	△ 5.9	0.0	5.9	14.7	8.8	△ 6.3	△ 21.0	
建設	△ 16.0	△ 18.0	△ 13.7	△ 20.0	△ 6.3	△ 22.5	△ 2.5	
運輸・倉庫	7.7	9.1	0.0	△ 5.0	△ 5.0	△ 25.0	△ 20.0	
卸売	△ 11.1	△ 8.6	△ 13.0	△ 22.7	△ 9.7	△ 22.5	0.2	
小売	△ 9.7	△ 12.5	△ 16.2	△ 22.0	△ 5.8	△ 27.1	△ 5.1	
ホテル・旅館	△ 8.3	△ 5.0	12.5	△ 44.5	△ 57.0	△ 44.5	0.0	
サービス	△ 13.4	△ 12.0	△ 9.6	△ 25.7	△ 16.1	△ 35.3	△ 9.6	



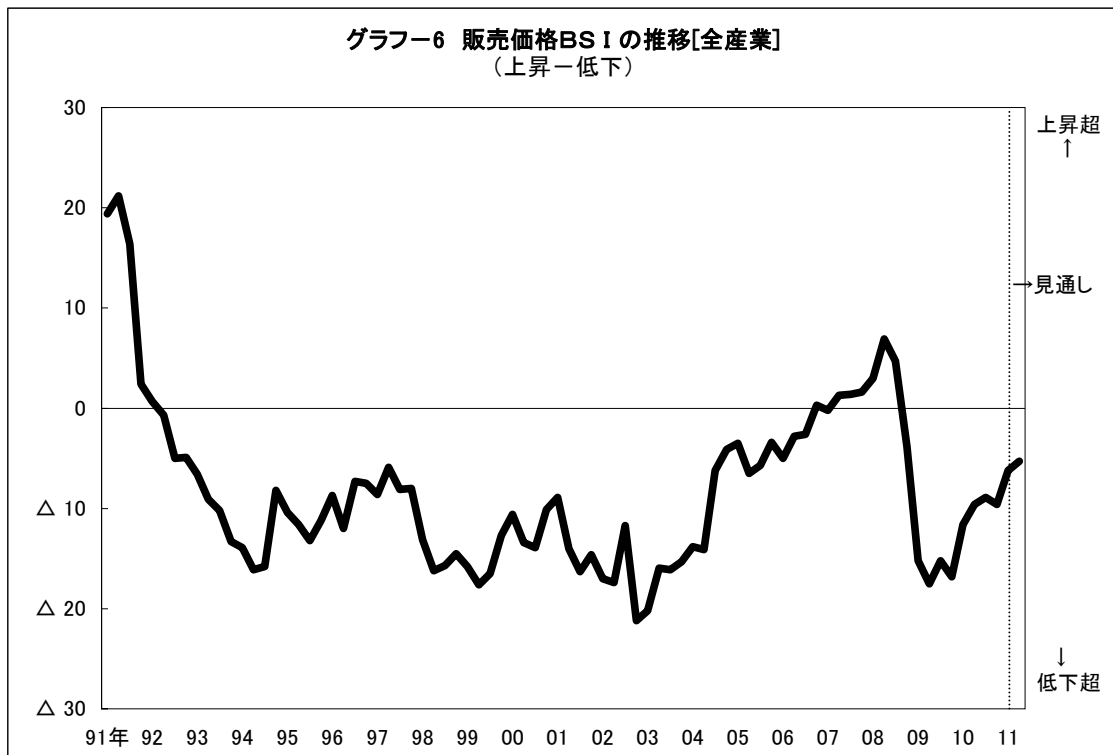
## 5. 販売価格実績・見通しBSI（グラフー6）

販売価格BSI（全産業）は△6.2（前回は+3.4）と2期ぶりに上昇し、水準は10期連続で「低下」超となった。製造業は△4.3（同+5.1）、非製造業も△8.6（同+1.2）とともに上昇し、製造業の大企業では9期ぶりに水準が「上昇」超となった。業種別には、ホテル・旅館、小売、電気機械は低下したが、食料品、金属製品、サービス、建設などは上昇した。

先行きの販売価格BSI（全産業）は小幅ながら、さらに上昇する見通し。

	実績					見通し	
	10年			11年		4～6月	実績比
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回は		
全産業	△ 9.6	△ 8.9	△ 9.6	△ 6.2	3.4	△ 5.3	0.9
製造業	△ 6.6	△ 8.5	△ 9.4	△ 4.3	5.1	△ 2.3	2.0
大企業	△ 3.6	△ 6.1	△ 6.7	1.4	8.1	5.3	3.9
中小企業	△ 8.1	△ 9.5	△ 10.6	△ 6.0	4.0	△ 5.5	1.1
非製造業	△ 13.6	△ 9.6	△ 9.8	△ 8.6	1.2	△ 9.1	△ 0.5
大企業	△ 12.3	△ 10.7	△ 5.9	△ 8.7	△ 2.8	△ 6.6	2.1
中小企業	△ 15.0	△ 8.1	△ 15.4	△ 8.5	6.9	△ 11.4	△ 2.9

	実績					見通し	
	10年			11年		4～6月	実績比
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回は		
食料品	△ 9.1	△ 11.3	△ 7.9	2.4	10.3	2.4	0.0
石油・化学	△ 4.6	2.4	0.0	2.8	2.8	11.1	8.3
プラスチック	0.0	△ 11.1	△ 18.8	△ 14.3	4.5	7.2	21.5
窯業・土石	△ 19.3	△ 12.5	△ 11.6	△ 11.0	0.0	△ 11.6	0.0
鉄鋼・非鉄金属	11.6	△ 8.4	△ 4.6	0.0	4.6	10.0	10.0
金属製品	△ 6.0	△ 16.7	△ 12.5	△ 4.8	7.7	△ 4.8	0.0
一般・精密機械	△ 15.7	△ 15.7	△ 13.4	△ 11.1	2.3	△ 20.0	△ 8.9
電気機械	△ 18.8	△ 6.3	△ 14.3	△ 16.7	△ 2.4	△ 8.4	8.3
輸送用機械	△ 3.6	△ 8.8	△ 10.0	△ 7.7	2.3	△ 15.4	△ 7.7
その他製造	△ 2.7	5.6	△ 8.8	0.0	8.8	3.2	3.2
建設	△ 19.4	△ 19.5	△ 19.4	△ 12.5	6.9	△ 12.5	0.0
運輸・倉庫	△ 14.3	△ 7.2	0.0	0.0	0.0	△ 16.7	△ 16.7
卸売	△ 11.1	△ 13.0	△ 10.0	△ 4.8	5.2	2.4	7.2
小売	△ 13.4	△ 9.7	△ 4.9	△ 10.0	△ 5.1	△ 12.0	△ 2.0
ホテル・旅館	△ 16.7	△ 5.6	0.0	△ 16.7	△ 16.7	△ 22.2	△ 5.5
サービス	△ 11.3	△ 2.9	△ 13.9	△ 6.9	7.0	△ 6.9	0.0





## 6. 仕入価格実績・見通しBSI

仕入価格BSI（全産業）は15.2（前回比+8.8）と2期連続で上昇し、水準も5期連続で「上昇」超となった。製造業が16.2（同+8.0）、非製造業も13.7（同+9.4）とともに上昇した。業種別には、運輸・倉庫、一般・精密機械を除き全16業種中14業種で上昇した。

先行きの仕入価格BSIは大幅に上昇し、「上昇」超幅はさらに拡大する見込み。

	実績					見通し	
	10年			11年		4～6月	実績比
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回比		
全産業	5.2	5.2	6.4	15.2	8.8	23.6	8.4
製造業	7.5	7.0	8.2	16.2	8.0	26.4	10.2
大企業	7.2	6.2	8.7	22.4	13.7	27.7	5.3
中小企業	7.7	7.3	8.0	13.6	5.6	25.8	12.2
非製造業	2.0	2.8	4.3	13.7	9.4	19.8	6.1
大企業	△1.5	4.4	1.3	10.2	8.9	18.2	8.0
中小企業	5.7	0.9	8.3	16.7	8.4	21.2	4.5

(注) 仕入価格BSI = 上昇-低下

	実績					見通し	
	10年			11年		4～6月	実績比
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回比		
食料品	△1.5	6.5	13.7	23.9	10.1	35.7	11.9
石油・化学	△4.6	0.0	2.7	13.9	11.2	27.8	13.9
プラスチック	13.7	10.0	0.0	28.6	28.6	28.6	0.0
窯業・土石	7.7	0.0	3.9	11.6	7.7	30.8	19.2
鉄鋼・非鉄金属	30.8	8.4	13.7	20.0	6.3	40.0	20.0
金属製品	5.8	7.2	12.5	14.3	1.8	21.4	7.1
一般・精密機械	15.7	9.4	13.4	10.0	△3.4	22.2	12.2
電気機械	6.3	0.0	0.0	8.4	8.4	8.4	0.0
輸送用機械	7.7	8.8	0.0	15.4	15.4	23.1	7.7
その他製造	13.2	16.7	5.9	15.6	9.7	21.9	6.3
建設	2.7	0.0	2.7	15.7	13.0	29.4	13.7
運輸・倉庫	14.3	0.0	16.7	10.0	△6.7	10.0	0.0
卸売	5.4	7.2	7.7	11.9	4.2	19.1	7.2
小売	△5.0	3.2	1.6	12.0	10.4	12.0	0.0
ホテル・旅館	4.2	5.6	8.4	27.8	19.4	27.8	0.0
サービス	1.7	0.0	1.4	10.5	9.1	21.1	10.6

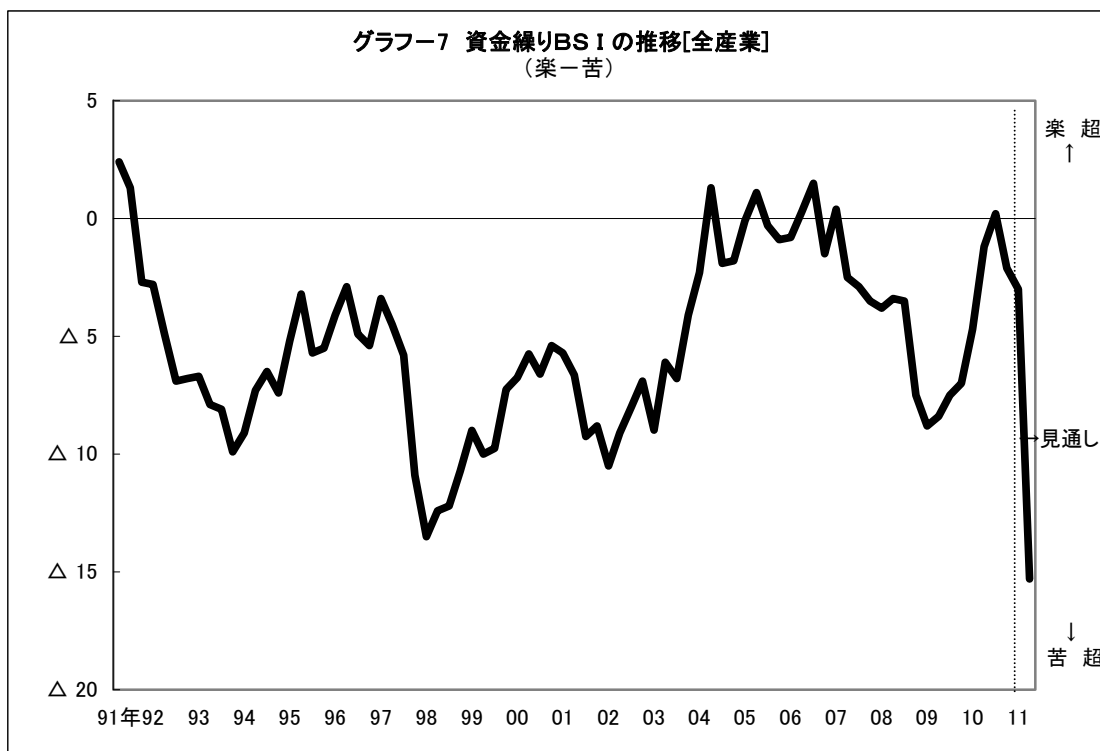
## 7. 資金繰り実績・見通しBSI（グラフー7）

資金繰りBSI（全産業）は△3.0（前回比△0.9）と小幅ながら2期連続で悪化し、水準も2期連続で「苦しい」超となった。製造業は△0.4（同+2.1）と改善したが、非製造業は△5.9（同△4.2）と悪化した。業種別には、プラスチック、運輸・倉庫、建設、鉄鋼・非鉄金属などは改善したが、ホテル・旅館、小売、卸売などが悪化した。

先行きの資金繰りBSIは大幅に悪化し、「苦しい」超幅が拡大する見込み。

	実績					見通し	
	10年			11年		4～6月	実績比
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回比		
全産業	△1.2	0.2	△2.1	△3.0	△0.9	△15.9	△12.3
製造業	△1.5	0.0	△2.5	△0.4	2.1	△10.1	△9.7
大企業	2.8	6.4	3.0	6.6	3.6	△5.3	△11.9
中小企業	△3.4	△2.5	△4.8	△3.4	1.4	△12.2	△8.8
非製造業	△0.8	0.4	△1.7	△5.9	△4.2	△21.2	△15.3
大企業	1.4	0.7	△0.6	△7.7	△7.1	△17.3	△9.6
中小企業	△3.0	0.0	△3.2	△4.3	△1.1	△24.6	△20.3

	実績					見通し	
	10年			11年		4～6月	実績比
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回比		
食料品	△4.7	△3.4	△8.1	△9.1	△1.0	△16.0	△6.9
石油・化学	△7.5	△2.4	△2.6	△2.8	△0.2	△8.8	△6.0
プラスチック	△4.6	△5.0	0.0	7.2	7.2	△10.0	△17.2
窯業・土石	7.7	4.2	3.9	7.7	3.8	△12.5	△20.2
鉄鋼・非鉄金属	0.0	0.0	△4.6	0.0	4.6	△40.0	△40.0
金属製品	△9.7	△7.4	△5.4	△5.0	0.4	△12.5	△7.5
一般・精密機械	6.3	△3.2	△6.7	△10.0	△3.3	△10.0	0.0
電気機械	18.8	25.0	21.5	16.7	△4.8	8.4	△8.3
輸送用機械	3.6	3.1	3.3	4.6	1.3	△4.6	△9.2
その他製造	△2.7	8.8	△3.0	6.3	9.3	0.0	△6.3
建設	△2.5	△4.6	△4.8	0.0	4.8	△14.7	△14.7
運輸・倉庫	△5.0	0.0	0.0	6.3	6.3	△18.8	△25.1
卸売	1.9	3.7	2.0	△7.5	△9.5	△16.7	△9.2
小売	0.0	3.2	△1.7	△13.1	△11.4	△28.3	△15.2
ホテル・旅館	△16.7	5.0	△4.2	△16.7	△12.5	△44.5	△27.8
サービス	3.7	△2.5	△2.0	△3.0	△1.0	△16.7	△13.7



## 8. 設備投資動向 (2010年度実績額、2011年度計画額)

10年度設備投資実績額(全産業ベース、11年4月調査、全回答先256社)は、09年度実績額を+36.1%上回った。製造業は同+47.5%、非製造業も同+28.1%とともに上回った。

11年度期初計画額(全産業)は、東日本大震災直後の混乱から有効回答社数が256社と前回(324社)比少なかったことや、金額未決定先が多かった(製造業24社、非製造業29社)ため、10年度実績額を△44.1%と大幅に下回った。製造業が同△19.0%、非製造業も同△64.2%の大幅な落込みとなった。

設備投資動向(2010年度実績額、2011年度計画額)

(単位:億円、%)

	09年度 実績額	10年度期初計画額		10年度			11年度期初計画額	
			09年度比	実績額	09年度比	期初計画比		10年度実績比
全産業	514.5	760.9	47.9	700.1	36.1	△ 8.0	391.6	△ 44.1
製造業	211.4	264.3	25.0	311.9	47.5	18.0	252.7	△ 19.0
大企業	194.2	239.7	23.4	284.4	46.4	18.6	229.8	△ 19.2
中小企業	17.3	24.6	42.4	27.6	59.6	12.1	22.8	△ 17.1
非製造業	303.0	496.6	63.9	388.2	28.1	△ 21.8	138.9	△ 64.2

## 9. 雇用BSI

### (1) 雇用実績・見通しBSI (グラフー8)

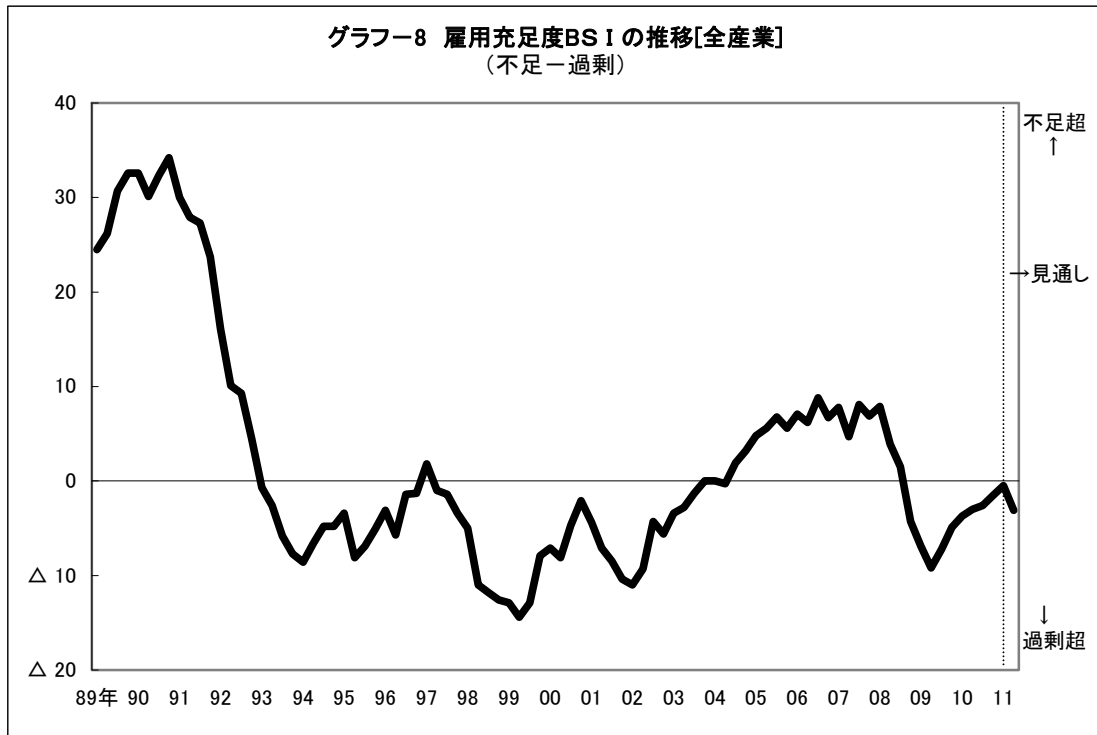
雇用BSI (全産業) は $\Delta 0.5$  (前回比 $+1.0$ ) と7期連続で改善したが、水準は10期連続で「過剰」超となった。製造業は $\Delta 1.3$  (同 $+0.1$ ) と小幅改善したが、非製造業は $0.5$  (同 $+2.1$ ) と8期ぶりに「不足」超に転じた。業種別では、サービス、石油・化学、建設、卸売などは「不足」超、プラスチック、窯業・土石、鉄鋼・非鉄金属、電気機械は「適正」、ホテル・旅館、食料品、一般・精密機械、運輸・倉庫、小売などは「過剰」超となった。

先行きの雇用BSI (全産業) は「過剰」超幅が拡大する見込み。

	実績					見通し	
	10年			11年		4~6月	実績比
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	前回比		
全産業	$\Delta 3.0$	$\Delta 2.6$	$\Delta 1.5$	$\Delta 0.5$	1.0	$\Delta 3.1$	$\Delta 2.6$
製造業	$\Delta 2.3$	$\Delta 1.7$	$\Delta 1.4$	$\Delta 1.3$	0.1	$\Delta 1.7$	$\Delta 0.4$
大企業	0.0	2.4	2.1	1.5	$\Delta 0.6$	$\Delta 1.4$	$\Delta 2.9$
中小企業	$\Delta 3.4$	$\Delta 3.2$	$\Delta 3.1$	$\Delta 2.5$	0.6	$\Delta 1.8$	0.7
非製造業	$\Delta 3.8$	$\Delta 3.8$	$\Delta 1.6$	0.5	2.1	$\Delta 4.9$	$\Delta 5.4$
大企業	$\Delta 5.1$	$\Delta 6.1$	$\Delta 5.3$	0.0	5.3	$\Delta 4.9$	$\Delta 4.9$
中小企業	$\Delta 2.4$	$\Delta 0.9$	3.8	1.0	$\Delta 2.8$	$\Delta 4.9$	$\Delta 5.9$

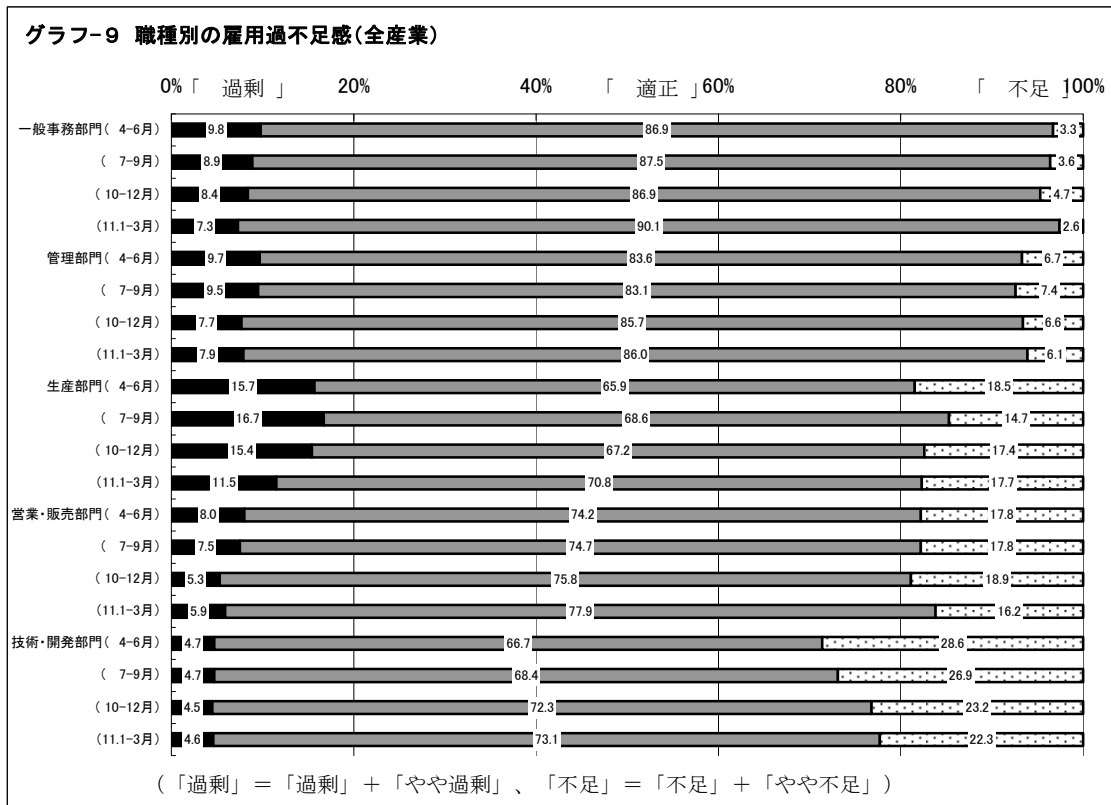
(注) BSI が大きいと雇用不足であることを表す

	実績					見通し	
	10年			11年		4~6月	実績比
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	前回比		
食料品	1.6	0.0	1.6	$\Delta 7.9$	$\Delta 9.5$	2.5	10.4
石油・化学	2.9	3.6	5.6	5.9	0.3	0.0	$\Delta 5.9$
プラスチック	0.0	0.0	$\Delta 7.2$	0.0	7.2	0.0	0.0
窯業・土石	$\Delta 4.6$	0.0	4.2	0.0	$\Delta 4.2$	$\Delta 4.2$	$\Delta 4.2$
鉄鋼・非鉄金属	$\Delta 12.5$	$\Delta 4.2$	$\Delta 15.0$	0.0	15.0	0.0	0.0
金属製品	$\Delta 14.3$	$\Delta 11.6$	$\Delta 10.5$	$\Delta 2.7$	7.8	$\Delta 5.0$	$\Delta 2.3$
一般・精密機械	0.0	0.0	0.0	$\Delta 6.3$	$\Delta 6.3$	$\Delta 10.0$	$\Delta 3.7$
電気機械	12.5	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
輸送用機械	$\Delta 4.2$	$\Delta 8.4$	0.0	$\Delta 3.9$	$\Delta 3.9$	3.9	7.8
その他製造	0.0	0.0	3.9	3.6	$\Delta 0.3$	$\Delta 3.4$	$\Delta 7.0$
建設	$\Delta 11.1$	0.0	$\Delta 3.1$	3.1	6.2	0.0	$\Delta 3.1$
運輸・倉庫	$\Delta 7.2$	$\Delta 11.1$	$\Delta 5.0$	$\Delta 5.6$	$\Delta 0.6$	$\Delta 6.3$	$\Delta 0.7$
卸売	$\Delta 8.0$	$\Delta 4.4$	$\Delta 4.6$	3.1	7.7	$\Delta 8.3$	$\Delta 11.4$
小売	$\Delta 3.7$	$\Delta 6.0$	$\Delta 3.5$	$\Delta 5.3$	$\Delta 1.8$	$\Delta 2.1$	3.2
ホテル・旅館	$\Delta 4.2$	$\Delta 5.6$	$\Delta 8.4$	$\Delta 11.1$	$\Delta 2.7$	$\Delta 27.8$	$\Delta 16.7$
サービス	4.2	$\Delta 1.6$	5.0	6.5	1.5	0.0	$\Delta 6.5$



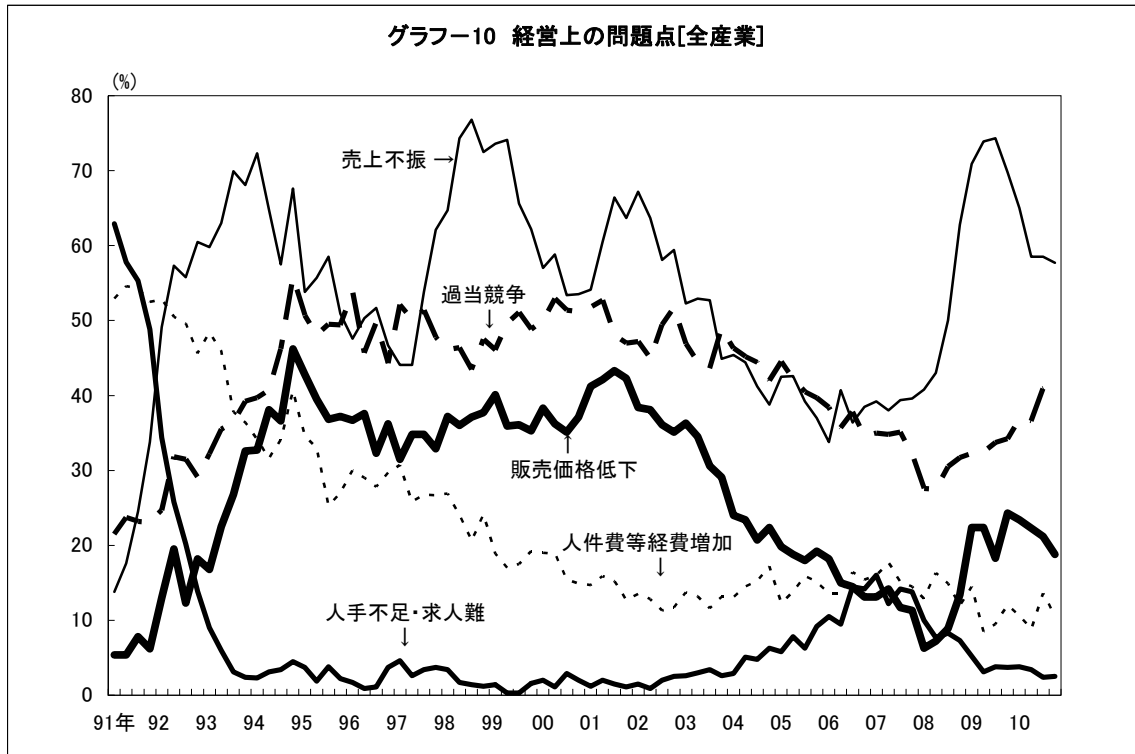
## (2) 職種別の雇用過不足感 (グラフ9)

職種別にみると、生産部門を除く全ての職種で雇用不足を訴える向きが減少している。



## 10. 経営上の問題点 (グラフ10)

経営上の問題点としては、「過当競争」をあげる先が増加しているほか、今回は東日本大震災の影響をあげる先が多い。



( 森 康 棋 )

## ○BSIとは

- ・BSIとは Business Survey Index（業況判断指数）の略。企業経営者の業況に関する実績判断や見通し、収益実績や見通しについて、「上昇・増加・好転」、「不変・横ばい」、「低下・減少・悪化」という3つの選択肢に対して回答を求め、これを数値で表したものである。
- ・BSIは次の式で求める。
- ・A = 「上昇・増加・好転」、B = 「不変・横ばい」、C = 「低下・減少・悪化」とすると、 $A + B + C = 100$ とした時、 $BSI = A + 1/2B - 50 = 1/2(A - C)$
- ・この結果、BSIがプラスならば上昇、マイナスならば低下ということになり、最高値は50、最低値はマイナス50になる。2011年1～3月期の全産業の業況判断を例にとると、BSIは△14.5であるが、これは「好転」企業の割合13.4%、「悪化」企業の割合42.3%であることから  $BSI = (13.4 - 42.3) \times 1/2 = \Delta 14.5$ となる。ただし、在庫状況、雇用充足度の場合は、BSIが大きいと在庫過大、小さいと雇用過剰であることを表す。

### 業種別・本社所在地別・規模別回答企業数

(単位：社)

	合計	本社所在地		企業規模	
		県内	県外	大企業	中小企業
全産業	256	215	41	94	162
製造業	134	108	26	39	95
食料品	22	20	2	5	17
石油化学	18	11	7	9	9
プラスチック	7	5	2	0	7
窯業土石	13	11	2	4	9
鉄鋼非鉄	5	5	0	1	4
金属製品	21	15	6	7	14
一般精密	10	9	1	2	8
電気機械	6	4	2	4	2
輸送用機械	15	13	2	4	11
その他製造	17	15	2	3	14
非製造業	122	107	15	55	67
建設業	20	18	2	3	17
運輸倉庫	10	10	0	3	7
卸売業	22	19	3	8	14
小売業	25	20	5	19	6
ホテル・旅館	9	7	2	5	4
サービス業	36	33	3	17	19

注) 大企業、中小企業の区分は下記による。

大企業…資本金1億円以上。ただし、卸売業は5,000万円以上、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円以上とする。

中小企業…資本金1億円未満。ただし、卸売業は5,000万円未満、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円未満とする。

### 調査要領

1. 対象企業… 千葉県内に本社または事業所を有する企業
2. 方 法… 郵送によるアンケート方式
3. 実施時点… 配布：2011年3月11日  
回収：2011年4月7日
4. 回答状況… 調査対象企業 720社  
内有効回答数 256社  
有効回答率 35.6%
5. 項目および対象期間
  - ① 2011年1～3月期の業況実績
    - \*前年同期比  
売上、生産、操業度、受注、在庫、収益、資金繰り、雇用
    - \*前四半期比  
業況判断、販売価格、仕入価格
  - ② 2011年4～6月期の見通し
    - \*前年同期比  
売上、生産、操業度、受注、在庫、収益、資金繰り、雇用
    - \*前四半期比  
業況判断、販売価格、仕入価格
  - ③ 設備投資  
2009年度実績額  
2010年度期初計画額  
2010年度実績額  
2011年度期初計画額